

## オブジーボの売上について



抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は、競争環境が激化する一方、胃がん、食道がん、尿路上皮がんなどでの使用が拡大したことにより、前期比31億円（2.2%）増加の1,455億円となりました。

2024年度は販売数量は増加するものの薬価引き下げの影響を大きく受け、当期比205億円（14.1%）減少の1,250億円を予想しています。

## フォシーガなどその他の主要製品が堅調に推移

糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォシーガ錠」、抗悪性腫瘍剤「ベレキシブル錠」、パーキンソン病治療剤「オンジェンティス錠」なども堅調に伸長しました。「フォシーガ錠」は、慢性腎臓病での使用が大幅に拡大したことにより、前期比196億円（34.7%）増加の761億円となりました。

## 主な製品の売上収益と次期売上収益の見込み

製品名	2023年度 売上収益(実績) (億円)	対前期 増減率	2024年度 売上収益(見込み) (億円)	対前期 増減率
オブジーボ点滴静注	1,455	2.2%	1,250	△14.1%
フォシーガ錠	761	34.7%	830	9.0%
オレンシア皮下注	258	4.3%	270	4.5%
グラクティブ錠	212	△5.9%	185	△12.7%
ベレキシブル錠	102	19.7%	100	△2.1%
カイクロリス点滴静注用	91	5.1%	95	3.9%
パーサビブ静注透析用	82	△2.1%	85	3.3%
オンジェンティス錠	63	26.8%	75	18.8%